特集
建築から見た島根県立図書館 … 2
大建築の聖地　～図書館だより特別編～（大建築友の会）

あなたのまちの図書館めぐり
江津市図書館
雲南市立木次図書館
島根県立大学短期大学部松江キャンパス図書館…… 4

図書館の上手な使い方
子ども室の行事に参加してみよう! …… 6

国立国会図書館デジタル化資料送信サービス
第3次「島根県立図書館振興計画」を策定しました
…… 8

人と人との縁結び
島根県立図書館報
http: //www. lib-shimane. jp/

図書館だより

2014
春夏号
2014年7月25日発行
第201号

写真 / 大建築友の会

特集

建築から見た島根県立図書館

島根県立図書館は、建築45周年を迎え、昨年末には約2ヶ月にわたり耐震補強工事を行いました。今回の特集は、その工事を担当した県の営繕課職員有志を中心に活動している「大建築友の会」に、島根県立図書館の建築としての魅力を解説していただきます。

～ 図書館だより特別編 ～

大建築の聖地

文・写真 / 大建築友の会

今も全国から見学者が訪れる名建築

島根県立図書館は昭和43年に建設されました。設計者は日本を代表する建築家、菊竹清訓（きくたけきよのり）氏（※1）で、築45年を経た今もなお、全国から多くの建築関係者や学生が見学に訪れる名建築です。

県立図書館の建築的な特徴の一つは、まず玄関を入ってすぐの吹き抜けロビーです。館内の閲覧室や事務室などの主要な室は、全てこのロビーを介してアクセスするよう設計されており、菊竹氏はここに複雑なかたちをした大きな屋根を架け、図書館の中心となるシンボリックな空間をつくり出しています。（写真上）

また、もう一つの特徴として、打ち放しコンクリートの壁がジグザグに連続する外観が挙げられます（写真下）。菊竹氏は、独自の理論に基づくL字型の閲覧室（※2）を考案し、これを堀川の流れに沿って並べました。その結果、どこか桂離宮の書院（※3）を想わせるような日本的な外観をつくり出しています。松江城周辺の歴史的な環境に建つ建築として、非常に巧みなデザインと言えます。

※1　菊竹清訓（1928－2011）福岡県久留米市出身。代表作は「スカイハウス（自邸）」、「出雲大社庁の舎」、「東光園」など。

※2　菊竹氏は高度情報化社会において特に重要となる図書館機能は「リファレンスサービス（調べ物の補助）」であることを今から45年も前に見抜き、L字型の要の部分に司書を配置して来館者のサポートにあてるプランを考案しました。（下図）

☆

※3　桂離宮書院群

photo by Bigjap; CC-BY-SA from Wikimedia Commons

菊竹氏は、建物内部からも風景が美しく見えるよう窓の大きさや形状にこだわりました。窓の外に設けられた斜め45度の壁は、建物を支える構造体であると同時に、城山の風景を一枚の絵画のように切り取り（右写真）、読書や勉強に疲れた目を癒やしてくれます。

優れた建築家が意を注いだ読書空間と、歴史的な美しい周辺環境を兼ね備えた図書館は、全国的に見ても大変貴重なものです。県立図書館は、我が県が誇る優れた文化的資産の一つと言っても過言ではありません。

建物の価値を守りながら耐震補強

昨年度、図書館の耐震補強工事を行いました。屋根の鉄骨に溶接不良がいくつも見つかり、またロビーに面した打ち放し仕上げのコンクリートも中性化（※4）がかなり進行していることが分かったため、溶接不良部分の除去・再溶接と、コンクリートの中性化を抑えるための塗装（※5）を行いました。
（下左写真は工事中の様子）

また、付属の駐輪場は、スチールの柱がさびで腐食して危険な状態だったため、耐震補強工事に合わせて建て替えを行いました。新設した駐輪場は図書館本体の外壁に合わせて壁を斜め45度とすることで、図書館との景観的な調和に配慮しています。また、以前のように目隠しパネルを取り付けることは止め、視線を通して防犯性を高めるとともに、光と風が通り抜ける明るいイメージの駐輪場としました。

今度図書館へご来館の際は、読書や勉強の合間に少し建物に目を向けてみられませんか。きっとこれまで気づかなかった新しい魅力を発見していただけるのではないかと思います。

※4　中性化とは、本来アルカリ性のコンクリートが、空気中の炭酸ガスに触れることで中性に変化することを言います。
鉄筋コンクリートに使用される鉄筋はアルカリ性のコンクリートに包まれることで錆び(=酸化)から守られていますが、コンクリートが中性化すると鉄筋が錆びやすくなります。錆びは鉄筋の強度を低下させるだけでなく、鉄筋を膨張させるため、コンクリートにひび割れが生じ、場合によってはコンクリートが剥離して落下する危険性もあるのです。

※5　ロビーは県立図書館のシンボル的な空間であり、いかにデザインを損なわないように耐震改修するかということが今回工事の大きなテーマでした。
特に打ち放しコンクリートは重要なデザイン要素であるため、中性化対策の塗装工事には特に配慮を要しました。無色のクリア塗料を選定して仕上がりのツヤも極力抑え、施工前と比較して打ち放しコンクリートの感ができるだけ変わらないよう配慮しています。

小冊子『大建築の聖地』のご紹介

県の営繕課では、若手建築職員有志が中心となって「大建築友の会」を結成し、県庁周辺のモダニズム建築群の魅力を分かりやすくご紹介する小冊子『大建築の聖地』を発行しています。本誌の PDF データは（一社）島根県建築士会のホームページ（http://aba-shimane.or.jp）から無料でダウンロードできますので、ご興味のある方はぜひご一読ください。

大建築の聖地　検索

◇図版提供（☆印）
菊竹清訓建築設計事務所

◇参考文献
島根県『島根県庁周辺整備誌』(1972)
菊竹清訓『菊竹清訓 作品と方法 1956-1970』美術出版社 (1970)

あなたのまちの図書館めぐり

島根県立図書館の職員は、県内市町村の図書館などを各館年２～３回訪問して、スタッフの方に直接お会いして情報交換を行っています。その地域の特徴や暮らす人々を知り、島根県の図書館全体が活性化するよう、ネットワークづくりに努めています。

江津市図書館　「本と出会うさまざまな“しかけ”」

昭和49年4月、公民館と併設で開館した江津市図書館は、今年で40周年を迎えました。県内８市の図書館（中央館）の中では最も小さな図書館です。小高い丘の上に建ち、裏山から聞こえる野鳥の声を楽しめるこの図書館は、どこか隠れ家的な雰囲気が…。その持ち味と限られたスペースを最大限に活かし、創意工夫にあふれた展示とイベントで着実にファンを増やしています。

入ってみると、ロビーでは月替わりの展示コーナーがお出迎え。これは公式ツイッターでも写真が紹介されているので要チェックです。中へ進むと、左右に郷土コーナー・こども室・一般資料室…と部屋が分かれており、手づくりの案内板でそれぞれの部屋へと誘います。その真ん中を通る廊下では、壁いっぱいのディスプレイ。テーマにまつわる品々や装飾とともに本が並べられており、まるでギャラリーのようです。毎回趣向を凝らした展示が企画され、来館者を楽しませてくれます。※写真はこどもの読書週間企画「トーベ・ヤンソン生誕100年～ムーミンの世界～」

廊下のディスプレイ。壁は職員が塗り直しました。

他にも、それぞれの部屋の一角を利用して様々なコーナーを設置しています。例えば、手芸や工作の本と、実際の完成品を一緒に並べた「コレ作ってみました。」コーナー。実物を手にとってみれば、より創作意欲がわいてくるでしょう。就業支援、医療・闘病記やYA（ヤングアダルト：若い世代）のコーナーももちろんあります。また、グリーフケア（身近な人を亡くした方が悲しみから立ち直れるようサポートすること）コーナーもあり、よく利用されているようです。

こうして少しの隙間も余すことなく活用し、あらゆるテーマの本を魅せていくのは、子どもからお年寄りまで、すべての市民の皆さんに利用してほしいという職員の思いの表れです。時にはさりげなく、時には大胆に、本と出会う「しかけ」が館内のいたるところにあります。お気に入りの一冊に出会ってもらえる工夫いっぱいの、小さくても愉しい図書館をのぞいてみませんか。

【江津市図書館】
開館時間：10時～18時
休 館 日：火曜日、月末、年末年始、特別整理休館日
貸　　出：５冊まで、２週間

雲南市立木次図書館　「絵本と音楽の楽しい時間」

木次図書館で、毎週木曜日の２時半～３時に行われる「よみかたりのじかん」。幼稚園の終わった子ども達とお母さんが、読み語りを聞きに、児童室に集まります。三刀屋や大東からも来る子どももいます。職員やボランティアさん達が読み語りをするこの時間に、月に一度来るのがピアニカのお姉さんです。

わくわくした様子の子ども達が、絵本の正面に腰を下ろすと、ピアニカの演奏が始まります。「♪でんでんむしむし　かたつむり♪」の聞きなれた音楽に合わせて、子ども達は元気いっぱいに、大人は事前にもらった歌詞を見ながら歌います。歌が終わると、次は読み語りの時間です。取材時は、歌と読み語りを交互にしましたが、時には紙芝居などの読み語りの合間に、伴奏として音楽を入れることもあるそうです。

なぜピアニカを選んだのかというと、子どもにもなじみが深い楽器だからだそうです。確かに、子ども達が最初に触れる楽器の一つでしょう。有名な童謡や曲を子ども達に知ってもらい、また、手遊び歌などを通じて親子の触れ合いの時間を持ってもらえるように、演奏する歌や曲を選んでいるそうです。

この日は参加者39人という、今までで一番の大盛況でした。だんだんと参加者も増え、また「よみかたりのじかん」の内容をまとめた「よみかたりつうしん」を見て絵本を借りていく利用者もいるそうです。この素敵な時間が、どんどんと広がっていくといいですね。

【雲南市立木次図書館】
開館時間：10時～18時
休 館 日：月曜日、月末、祝日（月曜と重なる時は翌日も）
　　年末年始、特別整理期間
貸　　出：10冊まで、2週間

島根県立大学短期大学部松江キャンパス図書館
「2年間の学びをもっと楽しく・もっと豊かに」

島根県立大学短期大学部松江キャンパスの憩いの場・カリヨン広場に面して図書館棟があります。建物には食堂もあり、毎日たくさんの学生や教員が集う場所です。

図書館の入口のゲートを入ってすぐ目にとまるのは、「学生図書委員会おすすめ本」のコーナーです。その向かいには月替わりの展示コーナー。続いて、「先生おすすめの本」も先生の紹介文とともに並んでいます。これらは学生図書委員さんによるものです。

学生図書委員会は、司書課程の学生を中心とした約20名の有志による活動です。展示などのほか、地域の参加者と一緒に読書会を開催、ビブリオバトル大会や読書マラソンの企画、図書館新聞の発行など活動は多岐にわたります。平成22年に活動が始まって以後、「図書館の雰囲気がよくなった」「使いやすくなった」と言われるようになったそうです。利用者である学生が、自分たちの図書館を自分たちで作っていくという視点が、楽しい図書館の雰囲気に表れているのだと思います。

学生生活、あっという間の２年間を忙しくすごす学生の要望は、できるだけ聞き入れて運営しているといいます。授業の課程にあわせた研究資料はもちろん、学生生活周辺もサポートしています。雑誌コーナーや読み物なども充実した図書館です。

館内は、やわらかい色のカーペットの床に木製の本棚が並び、季節に合わせたかわいらしい展示や小物。テーブル席には、広場からの光が充分に入ってきます。教科書や本を広げて勉強する学生、その隣で先生も調べ物の本を広げていらっしゃいます。友達と本をはさんで和やかに過ごす姿も見られました。

【島根県立大学短期大学部松江キャンパス図書館】
開館時間：授業期間 8:45～20:00／休業期間 9:00～17:00
休 館 日：土曜日、日曜日、祝日
※一般利用者は閲覧のみ利用可

子ども室の行事に参加してみ

県立図書館子ども室では、子どもとその保護者を対象に様々な行事を行っています。それぞれの行事がどのような内容で、 どれぐらいの年齢の子どもを対象に行っているのか、ごぞんじでしょうか。

特に毎月行われる4つの行事について、詳しくご紹介します。

読み聞かせ（乳幼児向）

親子で絵本を読む会

赤ちゃんからでも大歓迎！初めての絵本の読み聞かせに

どんな絵本を選んでいいか分からない、どうやって子どもに絵本を読んでやればいいか悩んでいる。そんなお父さんお母さんが対象です。職員がわらべうたや手遊び、読み聞かせを行います。子ども達とのふれあいの幅が広がります。

日時 第2・第4水曜日 11時～11時30分　場所 子ども室 おはなしのへや
対象 乳幼児・保護者

読み聞かせ（小学生向）

おとうさんといっしょに絵本を読む会

子どもと一緒の休日、お父さんも読み聞かせを聞いてみませんか？

せっかくのお休み、子どもと一緒に過ごしたいけれど、何をすればいいか分からない。そんなお父さんに、子どもと触れ合うきっかけとして、絵本の読み聞かせはいかがですか。もちろん、お母さんやおじいちゃん、おばあちゃんも大歓迎です。家族みんなで絵本を楽しみましょう。

日時 第3日曜日 11時～11時30分　場所 子ども室 おはなしのへや
対象 幼児・小学生・保護者

市町村図書館を通して貸出します

すべての県民の皆さんに県立図書館の資料を利用してもらうため、市町村の図書館などを通して資料の貸出を行っています。

①県立図書館に求める資料があるかどうかは、インターネットの蔵書検索（県立図書館HP）や、電話での問い合わせ（0852−22−5748）またはお近くの市町村図書館までおたずねください。

②借りたい資料が決まりましたら、お近くの市町村図書館（図書館未設置の4町村は中央公民館等）へお申し込みください。週3回、市町村図書館等へ発送します。

よう！ 図書館の上手な使い方。
～子どもも大人も楽しい図書館編～

本から広がる楽しさ

子どもお楽しみ会

劇あり、工作あり、今月は何をするのかな？ まさにお楽しみ！

読み聞かせや工作など、ボランティアさんと職員が協力して、様々な企画を行います。影絵劇やブラックライトを使ったブラック紙芝居、外国語絵本の読み聞かせや科学実験など、毎月違った企画が楽しめます。職員による、毎月のテーマに合わせた絵本の紹介もあります。

日時 (4･6･10･2月) 10時～10時30分 場所 おはなしのへや
(5･7･9･11･1･3月)10時～11時 場所 集会室
対象 幼児・小学生

ストーリーテリング

お話の会（おはなしブリュッケン）

絵本なし！ 語り手のお話から描く自分だけの物語！

日本の昔話や世界の昔話を子どもたちに語るおはなしグループ「おはなしブリュッケン」によるストーリーテリングを行います。本を読むのではなく、昔から語りつがれた物語を覚え、それを子どもたちに語るストーリーテリング。子どもたちはことばに集中し、自分のイメージで物語を思い浮かべるのです。4月・12月には拡大版お話の会を開催します。

日時 第２土曜日 13時30分～14時30分
場所 おはなしのへや（４月・12月は集会室） 対象 幼児以上

申し込み不要！ 参加費無料！

このほかにも、8･12月に行われる「子どものつどい」や、「図書館探検ツアー」（要申し込み）など、いろんな行事があります。チラシ・ホームページなどでお知らせします。皆さんのご参加をお待ちしています。

読 書普及指導員･親子読書アドバイザーを派遣します

保護者参観や職員・ボランティアの方の研修会等で、親子読書や読み聞かせの基本的な考え方やポイントなどお話しします。

〈お問い合わせ〉
子ども読書支援係（0852−22−6077）
または、西部読書普及センター (0855−23−6785)

郷 土資料収集のお願い

島根に関する資料（新旧にかかわらず）を収集・保存しています。ご寄贈、情報の提供をお願いします。

〈お問い合わせ〉
郷土資料・調査係（0852−22−5732）

国立国会図書館デジタル化資料送信サービスが利用できるようになりました!

国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」が開始され、島根県立図書館においてもデジタル化資料の閲覧・複写ができるようになりました。

■利用できる資料：国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料

図　　書	昭和43年までに受け入れた図書で入手が困難なもの
古 典 籍	貴重書、江戸期・清代以前の和漢書
雑　　誌	平成12年までに発行された雑誌（商業出版されていないもの）
博士論文	平成3から12年度に送付を受けた論文（商業出版されていないもの）

■島根県立図書館の図書貸出カードをお持ちの方にご利用いただけます。

■２階参考資料室のオンラインデータベース専用端末（１台）で閲覧できます。
■複写料金は、白黒１枚20円、カラー１枚100円です（職員が複写を行います）。

お問い合わせ先　参考資料室(0852-22-5739)

第３次「島根県立図書館振興計画」を策定しました。

県立図書館では、今後の図書館運営における基本的な考え方や方策の方向性をまとめた第３次「島根県立図書館振興計画」を策定しました。「県民一人ひとりが個性を発揮し社会の一員として自立する『人づくり』と、心豊かに暮らせる活力ある『地域づくり』に資する『知の拠点』を基本理念とし、①地域の図書館を支援する県立図書館 ②子どもの読書活動を支援する県立図書館 ③郷土の歴史や文化を継承し、情報発信する県立図書館 ④県民の課題解決を支援する県立図書館 ⑤情報の拠点となる県立図書館の達成を目指します。

また、これに先立って、子どもの読書活動に関する施策を定めた第３次「島根県子ども読書活動推進計画」が島根県教育委員会によって策定されました。

・・・計画の全文は以下のホームページでご覧いただけます・・・

「島根県立図書館振興計画」▶http://www.lib-shimane.jp/gaiyou/pabukome.html（県立図書館）

「島根県子ども読書活動推進計画」▶http://www.pref.shimane.lg.jp/shakaikyoiku/kodomodokusyo（島根県教育庁社会教課）

INFORMATION

島根県立図書館　利用案内

●開館時間／火 ～ 金　9時～19時（3月～10月）
　　9時～18時（11月～2月）
　　土日･祝日　9時～17時（通年）
●休 館 日／毎週月曜日（祝日の時は開館）
　　第1木曜、年末年始、特別整理休館
※詳しくは開館カレンダーをご覧ください。

〒690-0873　島根県松江市内中原町52
TEL. 0852－22－5725　FAX. 0852－22－5728
ホームページ　http://www.lib-shimane.jp/

人と人との縁結び　図書館だより は、本を読む愉しみを味わえるビジュアル情報誌です。
島根県の、本・人・図書館にまつわる話題をお届けします。
皆さんの「本のある暮らし」を応援します。

島根県立図書館報
　図書館だより　第201号
平成26年7月25日発行
編集・発行／島根県立図書館

島根県立図書館イメージキャラクター
ぶっくまくんとしおりちゃん